熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association

～健康長寿は歯から～
～健口から健幸へ～

熊歯会報

No.799
January 2023
1

CONTENTS

●年頭所感　熊本県歯科医師会　会長　伊藤 明彦……3
●年頭所感　日本歯科医師会　会長　堀 憲郎……4
●理事会報告……5
●笑顔ヘルCキャンペーン……7
●委員会報告……9
（医療対策、医療連携、厚生・医療管理、地域保健Ⅱ、学校歯科、学術）
●報告……17
●郡市会報告（天草郡市・菊池郡市）……18
●伝達式……20
●身元確認マニュアル②……21
●リレー投稿㉓……24
●熊歯乙女のひとりごと㉕……25
●年男・年女インタビュー……26
●会務報告……29

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

新年おめでとうございます。2023年は「癸卯（みずのとう）」。癸卯は、昨年までで様々な事の区切りがつき、次へと向かっていく、そこに成長や増殖といった明るい世界が広がっていくという意味があります。コロナも終息を期待し、県民の健康長寿のために会員一同で歯科医師会も更なる成長と発展を目指し、国民に支持される歯科界を作り上げて参りましょう。

（A・K）

年頭所感

一般社団法人熊本県歯科医師会　会長　伊　藤　明　彦

2023年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症に翻弄される１年になりましたが、武漢での第１例目の感染者が報告されてから3年以上が経過し、感染拡大への向き合い方も変容を遂げてきています。政府は、マスクの着用について屋外では原則不要、屋内でも人との距離が確保できてほとんど会話をしない場合は必要ない、との指針を示しました。その他、水際対策の緩和が行われるなどWithコロナの対応が行われ、行動制限の撤廃・社会経済活動の活性化が促進している印象を受けています。さて、歯科界においては、鹿児島で開催された九州歯科医学大会が実開催されたり、本会においても行政や他業種との各種会議・研修会がハイブリッドにより開催されたりなど、次第にポストコロナを見据える兆候があります。長期にわたる感染拡大により翻弄されることも多々ありましたが、県民の皆様に寄り添う安定した地域歯科医療提供体制を堅持できておりますのは、会員の先生方やスタッフの皆様による、盤石な感染対策励行のおかげかと存じます。衷心より感謝申し上げます。

「骨太の方針 2022」では、「全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）の具体的な検討、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療職間・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携、歯科衛生士・歯科技工士の人材確保、歯科技工を含む歯科領域におけるICTの活用を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。また、市場価格に左右されない歯科用材料の導入を推進する。」として、纏められました。特に「いわゆる国民皆歯科健診」という文言が入れられたことは、歯科界の発展のみならず“健康長寿日本”の推進が予見されるものです。オールデンタルによるチーム医療と、多職種による連携を、今後一層強化していかなくてはいけません。本会においては、蒲島県知事からいただいた「健康長寿は歯から」というスローガンのもと、“乳幼児期から高齢期”までのシームレスな政策を行政と検討し、具現化していく必要性があります。特に、１歳半健診におけるむし歯保有率が全国最下位という結果となり、その施策の１つとして、熊本県口腔保健支援センター（本会からも役員が出向）が昨年開設され、政策の検討・立案・調整が行われ始めています。県民の皆さんへの「歯科の重要性」の浸透には、人間ドックや医療従事者の皆さんによる協力など様々な方法を模索しながら、これまでに引き続きアクションを起こしていく予定です。それに伴い会員の先生方にもご尽力いただく場面が多々出てくることと思いますが、何卒ご協力をお願い申し上げます。

2023年の干支は癸卯（みずのとう）になります。“癸”は次の新たな生命が成長し始めている状態を意味し、“卯”は穏やかな兎の様子から安全・温和、さらには兎のように跳ね上がるという意味があります。“充実した烏兎匆々な１年であった”と思える１年になるように、県歯役員一同「Passion & Performance」で業務に邁進して参ります。結びとなりましたが、この新しい一年が会員の先生方にとって幸多きものになりますよう心からお祈り申し上げます。

年頭所感

公益社団法人日本歯科医師会　会長　堀　憲郎

明けましておめでとうございます。日歯会長として７回目の年頭所感になります。

私が日歯会長に就任したのは平成28年３月で、日歯連盟で起きた事件により歯科界全体が内外の批判にさらされていた混乱期でした。日歯には直接関係ない事件でしたが、会長としての緊急且つ最大の任務は「歯科医師会組織への信頼の回復」であり、倫理関係三規程の策定、内部統制室の立ち上げなど内部統制、コンプライアンスを改めて徹底し、歯科界一丸となった取り組みで、比較的早期にこの任務は理解を得られたと振り返ります。

何よりも会長就任の約３年後に、平成天皇の御在位30年を祝う宮中茶会にお招きを受けたときに「課せられていた信頼回復の任務に一定の目処がついた」と安堵したことを思い出します。

その後は、会長就任前の役員時代から認識していた歯科界の課題を「日歯の28課題」と整理して掲げ、「歯科界全体の活性化をはかること」を主眼とし「オールデンタル」の合言葉のもとで取り組んできました。会員の皆様をはじめとする多くのご理解を得て取り組んだ結果、例えば「新規技術の積極的開発と保険収載による歯科界の活性化」「超高齢社会の疾病構造に対応できる口腔機能低下症等の新病名の確立」「成長戦略、骨太の方針等の国の政策の核心部分への歯科医療の重要性の明記」「厚労省の歯科口腔保健推進室の昇格」「半世紀続いて来た歯科に不公平な薬価算定ルールの見直し」「日歯製作映画『笑顔の向こうに』のモナコ国際映画祭のグランプリ獲得」「2040年を見据えた歯科ビジョンの発表」など様々な成果が得られたと振り返ります。

中でも10年以上前の歯科界では「新機能・新技術」と区分される新しい画期的な技術の開発が皆無であり、改定時期以外に保険収載できる仕組みも全く活用されておらず、それを歯科界の構造的な課題と位置づけて、日本歯科医学会、産業界とスクラムを組んでチャレンジし続けました。まだまだ十分とは言えませんが「CAD/CAM冠」「ファイバーポスト」「チタン冠」「マグネット義歯」等の保険収載は、未来に向けた歯科界の更なる活性化を期待させる成果であり、産業界を含むオールデンタルでの意識、機運は高まっていると感じます。

歯科界の活性化については、歯科医療費の動向がひとつの指標になります。例えば平成14年から21年に掛けては「医療費全体の伸びが国の財政を圧迫する」と問題になる中、「歯科医療費だけは減り続ける」という極めて危険な状況が存在しました。

それが平成22年以降は（コロナ感染症の影響で令和２年度がマイナスになった以外）一度もマイナスになることありませんでした。平成23年から令和元年まで、金属材料の価格変動の影響を除いても平均1.2％の伸びを継続しています。

コロナ禍の前は、このような歯科界の明るい兆し、可能性の継続と増幅がみられ、歯科医療と口腔健康管理の重要性への国民の理解と期待はかつて無く高まっていたと確信します。

そのような現状認識をもとに、人口減少という大きな問題を抱える20年後の社会を見据えて令和２年秋にとりまとめたのが「2040年を見据えた歯科ビジョン」ですが、このビジョンは、申し上げてきた過去10年、20年の歯科界の取り組みと成果を総括し、未来に向けて国民の健康を守る立場での責任を明らかにしたものでもあります。

この歯科ビジョンが歯科界の明るい未来への航海の羅針盤となることを期待しつつ、今年こそ新型コロナウイルス感染症が終息し、コロナ前に歯科界に注いでいた陽光が戻ってくることを信じて年頭のご挨拶と致します。

理事会報告

感動を与える

― 第19回理事会 ―

11月22日（火）午後７時より県歯会館にて伊藤会長他全役員、増田・水上監事、東学院長出席のもと開催された。

１．開会：松本副会長

２．挨拶：伊藤会長

だんだん寒くなってきましたが、どうか健康には十分ご留意ください。さて、人が自ら考え行動するのはどういう時でしょうか。例えば、開幕中のサッカーワールドカップにおいて、選手の素晴らしいプレーを見た時や、我々が主催する講演会で、講師の先生から良い影響を受けた時、我々は自分自身が変わろうという気持ちが芽生えると思います。その過程で最も重要な要素は「感動」であると考えます。人は感動した時、主体的に行動しようとしますから、感動を与えるということは重要な事になります。我々の事業においても同じです。会員と県民の皆様に感動を与えるために事業計画を練って実行することは、会員と県民の皆様もやろうという意欲が芽生える事になります。事業を行おうとする時に、本当にこの内容や方法で良いのだろうか、他のやり方は無いだろうか、それを一つずつ丁寧に積み重ねて考えていくことで、事業がより一層実りあるものになります。理事の皆様はこれを念頭に置いて、さらに事業に邁進して頂きたいと思います。

３．議長選出：伊藤会長

４．議事録署名人：増田・水上監事、伊藤会長

５．会務報告：

（自：10月21日～至：11月20日）

本会総務：理事会、常務理事会、九州歯科医学大会、各委員会概算要求協議

学　　術：歯周病プロジェクト講演会、デンツプライシロナ共催学術講演会

社会保険：社会保険委員会

地域保健Ⅰ：笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント

地域保健Ⅱ：歯科歯科（訪問歯科）連携モデル地区事業会議、認知症対応力向上研修会

広　　報：『熊歯会報』12月号の校正

学校歯科：図画・ポスター、習字コンクールならびに歯・口の健康啓発標語コンクール表彰式

医療対策：医療対策講演会、医療相談・苦情事例報告

厚生・医療管理：オンライン資格確認説明会

医療連携：回復期医科歯科病診連携推進事業研修会

学　　院：学院臨床実習指導担当歯科衛生士研修会、学院文化祭

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．退会会員

小柳 伸也 会員（第１種／こやなぎ歯科医院）令和４年９月30日　自己都合

２．９月末がん及び回復期の医科歯科連携事業

3．10月末会計現況
4．日本メディカルテクノロジーのサービス
　業者による貴金属回収の各種サービスを報告した。
7．連絡事項：
1．12月行事予定
2．会議及び講演会後懇親会費支払基準内規
　内規に基づく懇親会費支払方法を各理事に周知した。
8．承認事項：
1．後援名義使用・共催依頼
①第18回熊本作業療法学会 ／一般社団法人熊本県作業療法士会
②第74回結核予防全国大会運営委員会／熊本県、結核予防会、熊本県総合保健センター
後援名義の使用許諾を承認した。
2．関係機関・団体からの役員等の推薦
①地域医療研修センター運営委員／国立病院機構熊本医療センター
②第21回九州地区健康教育研究大会 分科会　指導助言／熊本県体育保健課
①伊藤会長、②石井理事の推薦を承認した。
9．議題：
1．関係機関・団体への会費等納入【承認】
• 令和４年度会費／全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会
　会費等の納入を承認した。
2．令和４年度熊本県委託事業予算書(案)【承認】
• 医科歯科病診連携推進事業（回復期）県委託事業予算書（案）を承認した。
3．女性歯科医師ネットワーク【承認】
　ネットワークの構築と今後の活動方針を承認した。
4．令和５年度 各委員会事業計画(案)【承認】
各委員会事業計画（案）を承認した。
5．令和５年度 各委員会予算（案）【承認】
各委員会予算（案）を承認した。
6．災害歯科保健医療連絡協議会の設置【承認】
協議会の設置を承認した。
7．２階LED工事とエレベーターのバッテリー【承認】
　２階LED工事とエレベーター非常電源用バッテリーの施工依頼を承認した。
8．歯周病リスク検診【承認】
　日赤病院における歯周病リスク検診（ヘモグロビン・LDH測定によるリスク判定）への協力を承認した。
9．事業企画【承認】
　施設基準研修会（歯初診）対面方式事業企画書（案）を承認した。
10．出産育児就業制限による県歯均等割会費及び県歯共済互助負担金免除申請の認定【承認】
会員１名より申請があった免除申請を承認した。
10．協議事項：
1．プレスリリースについて
　新型コロナ・インフル同時流行のエビデンスに関する資料を椿副会長が作成した。今後、プレスリリースするため、テレビ局等に掛け合うことを決定した。
2．「レセック」サービス終了
　日歯会員向けレセコンサービス「レセック」について、運営先のNTTデータから日歯へ、終了の申し出があった。
11．監事講評：
増田監事より「次年度の事業計画と予算が理事会で承認された。各委員会の気概に溢れた内容だと思う。会員からお預かりした会費である事を忘れずに、必要な事業にはお金を掛けて遂行してほしい。」、水上監事より「新型コロナの収まりに伴い先月より会務が活発になってきた。最近また感染拡大しつつあり、理事や委員会の皆様は感染予防対策を行い、健康には十分留意して事業遂行してほしい。」と述べられた。
12．閉会：椿副会長

（広報　神﨑 理子）

笑顔ヘルＣキャンペーン

― 中央イベント ―

11月６日（日）午前11時より熊本市の上通びぷれす広場において標記イベントが、本会と熊本日日新聞社の主催、県歯科衛生士会の共催、熊本県の後援、㈱花王の協力の下開催された。笑顔ヘルＣキャンペーンは、いい歯の日にちなんで「熊本県民お口の健康運動」として歯の健康の重要性に関する意識の高揚と健康維持に必要な正しい知識の普及を図ることを目的としたイベントである。伊藤会長の開会の挨拶によりイベントが始まった。

内容は、街頭での歯科に関するアンケート、歯科相談、歯磨き指導、熊本歯科衛生士専門学院の紹介、笑顔ヘルＣ写真コンクールの作品展示、歯と口の健康に関する図画・ポスター、習字コンクール、歯・口の健康啓発標語コンクールの作品展示が行われた。今回は各コンクールの表彰式もイベント内でおこなわれた。また、ステージイベントでは「ぺぺぺぺらん」さんによるフッ素を利用したむし歯予防の紙芝居、御当地キャラ「くまモン」のショーがあり来場者に大好評であった。

コロナ禍で３年ぶりのイベント開催となり街頭アンケートは418人と例年より少ない人数であったが、来年もイベントを大いにアピールし、イベントを通して県民の歯の健康に対する意識を高めていきたいと思う。

（蔵本 茂禎）

伊藤会長の挨拶

モンモンモン♪くまモ～ン♪

どれも笑顔が素敵で選ぶのが大変でした……

やっぱりくまモンの人気は健在

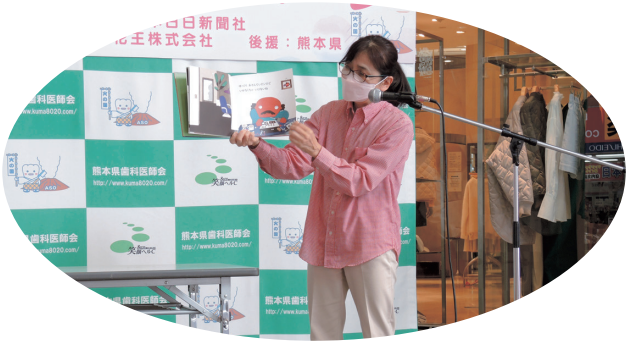
来場者や歩行者にアンケート調査

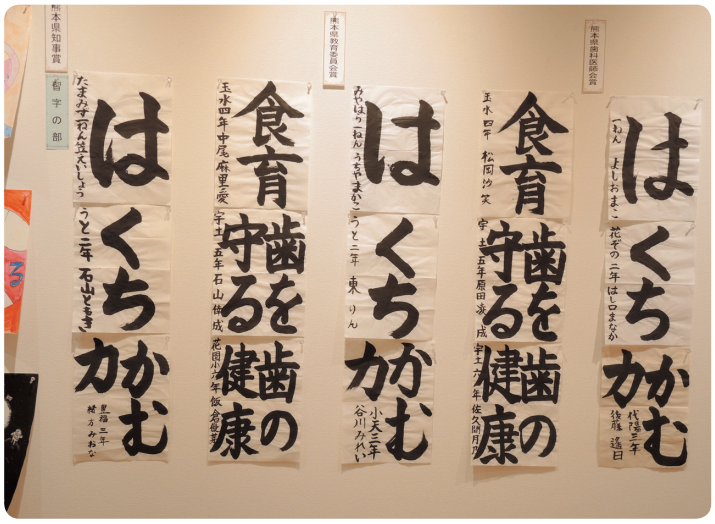
今年の応募作品を展示

県教育委員会より表彰

県知事賞の表彰

県歯の表彰


絵本の読み聞かせ



習字の展示会

地下では標語を展示

歯の悩みを相談する来場者

子ども向けに紙芝居も

閉会の辞を述べる松本副会長

委員会報告

会員の先生方を日々サポートしていくために

― 九州各県歯科医療安全対策担当者会議 ―

医療対策

10月29日（土）午後２時より、佐賀県担当にてWebによる標記会議が開催された。

秋山佐賀県歯総合対策副委員長の司会進行のもと、松尾佐賀県歯副会長、三代日歯常務理事より開会の挨拶があった。

まず始めに、日歯報告として三代日歯常務理事より、物価高騰に対する日歯の調査及び政府の対応、歯科衛生士及び歯科技工士の不足問題、ヒヤリハットシステムの稼働について、電子処方箋準備の現状、歯科医師によるワクチン接種の現状などが報告され、協議事項に移った。

⑴　令和４年度九州各県歯科医療安全対策関係事業計画及び予算について

⑵　各県提出議題について

１．医療事故調査制度のもと初動での対応（福岡）

２．クレーム対応費用保険について（長崎）

３．患者からの苦情対応について（大分）

４．医療器具の欠陥により発生した医療事故（熊本）

５．裁判事例となった医療事故は？（熊本）

６．閉院診療所における治療継続について（宮崎）

７．治療費の不払いへの対応について（鹿児島）

８．撤去冠の返還を求めてくる患者について（鹿児島）

９．医療トラブルの金銭的な解決に対する公的文書について（沖縄）

以上９題について回答及び活発な意見交換が行われた。

⑶　日歯への要望及び質問について

１．医療事故調査制度のもと初動での対応（福岡）

２．３．歯科衛生士による浸潤麻酔行為についての見解（福岡・熊本）※類似題

４．国民皆歯科健診の具体的検討について（鹿児島）

５．パワーハラスメント防止措置への対応について（鹿児島）

以上５題の質問・要望に対し三代日歯常務理事より丁寧な回答がなされた。

⑷　統一フォーマットによる事例報告

⑸　過去の統一フォーマットによる事例報告後進展のあった事例について

⑹　その他

続いて安永法律事務所の安永治郎弁護士より演題「歯科紛争の始まりから終わりまで」について講演頂いた。医療紛争の始まり方と終わり方、歯科医師側の弁護士介入のメリット、デメリット、タイミング、医療安全担当者と担当弁護士との連携方法について述べられた。

各協議において九州各県の多岐にわたる問題点が示され、活発な意見交換が行われた。また各県とも会員の先生方が１日も早く日常診療に戻れるよう対応されていることがうかがえた。今回担当者会議に出席し、医療トラブルを１つでも減らすために、医療対策委員会として有益な情報を発信し、会員の先生方を日々サポートしていこうと気持ちを新たにした。

最後に次期開催県の椿熊本県歯理事の挨拶、秋山佐賀県歯総合対策副委員長より閉会の言葉で終了した。

（町田 宗一郎）

委員会報告

トラブルは早期かつ適切に

― 医療対策講演会 ―

医療対策

11月６日（日）午前９時半より県歯会館にて標記講演会が県歯医療対策委員会・熊本市歯医療管理委員会合同で開催された。伊藤県歯会長より挨拶のあと、医療法人社団グリーンデンタルクリニックの島田淳理事長を講師としてお迎えし講演会が始まった。

困った患者の訴えとして①クレームを繰り返す②こちらの説明に対する理解度が低い③症状に関し些細なことまで強迫的なこだわりを持っている④不安傾向を示す挙動がある⑤自分の希望する治療法を術者に強要する⑥話が長い⑦話を聞かない⑧神経質で非常に細かい、などがあり、歯科医院側は患者の訴えは多岐にわたることを認識する必要があると説明された。

精神疾患を患っている患者の中で身体症状を訴える場合、その身体症状に該当する科を受診していることが多い為、困った患者となっている可能性がある。またこころの病気が関係すると思われる歯科的な訴えで多いのは舌痛症や口臭恐怖症、顎関節症、咬合違和感症候群などが挙げられる。

困った患者に対して気を付けるポイントとして、しっかり説明し患者の同意を得て治療を行う事。またよく話す患者であれば、一区切りつくまではその話を聴き続ける事が重要である。困った患者さんへの対応で最も大事なことの一つが情報収集であり、その際本人からの聴取が一番重要であるとのことであった。情報を得るためには、どのように信頼関係を築くかが大事であり、支持的精神療法（傾聴・受容・共感・支持）がその基本となり、対応する医療者の人柄が大きく影響するとの事であった。

日々の診療に役立つ情報を講演する島田先生

治療するうえで気を付けるポイントとして、いま何をしているか、痛みが出そうな箇所はあらかじめ伝えておくなど１つ１つの処置の説明を十分にしておく事が重要である。トラブルを回避するためには、①インフォームドコンセント②同意書の作成③初診の現状を証拠に残しておくこと④スタッフ間での情報の共有等が重要であると話された。

困った患者さんには、いろいろな背景がある。おかしいと思った時は自身で対応可能かを見定め、歯科医自身が困った患者さんを生み出してないか、常に考える必要がある。

医療は人と人のつながりが大切であると述べられ終了となった。

最後に宮本熊本市歯会長より閉会の言葉を頂き、盛会のうちに閉会となった。

ここ数年医療対策委員会で対応する事例も多様化しており、トラブルは早期かつ適切に対応することによって解決の労力が少なくて済む。この講演を日々の診療に役立て安心・安全な歯科診療をおこなっていければと切に思う。

（町田 宗一郎）

委員会報告

一（いち）内科医からのメッセージ

― 回復期医科歯科病診連携推進事業研修会 ―

医療連携

10月30日（日）福岡県の誠愛リハビリテーション病院の長尾哲彦院長をお招きして、標記セミナーが開催され、松本副会長挨拶の後、講演開始となった。

まず、超高齢社会において、一患者に多疾患が併存する昨今、在宅医療の普及もあり歯科疾患と医科疾患に深い関連性が出てきており、歯周病と全身疾患との関わり、動脈硬化性疾患の予防のために口腔ケアが重要であることを述べられた。また、誤嚥性肺炎についても食事中の誤嚥のみが原因ではなく、睡眠中などに口腔内細菌が唾液と共に肺に侵入する不顕性誤嚥が重要であり、肺に侵入する細菌量は口腔衛生状況に依存するため、口腔ケアが非常に重要であると説明された。

また、脳卒中後遺症などで半身麻痺や筋緊張によりブラッシングが困難となることや、運動障害による口腔機能低下による食物残渣の停滞、嚥下障害による栄養不足による免疫低下など、歯周病への影響について説明された。嚥下障害については、脳卒中後遺症による上咽頭の運動麻痺により誤嚥しやすくなるが、頸部を前屈させる姿勢をとることで、誤嚥しにくくなる。口腔周囲感覚麻痺や半側空間無視、顔面口腔失行、認知機能障害などの症状と歯科治療との関わりについても述べられた。

次に、バイタルサインの変調と歯科治療との関わりについても述べられた。もし意識障害があれば、危険な病態が存在することが前提となり、必ず原因を明らかにしなければならない。高齢者の疾患は、原因を問わず、意識障害を初発症状とすることが少なくないとのことであった。呼吸については、呼吸数が多すぎる程、または少なすぎる程、重篤なことが多い（10回／分以下なら呼吸抑制を疑い、

医科と歯科の連携の重要性を説明する長尾先生

25回／分以上では心肺疾患を強く疑い、歯科治療は見合わせた方がよい）。呼吸数は個人差や変動が大きいので普段の状態と比較することが必須である。

脈拍については、頻脈（100/分以上）かつ症状がある（または血圧低下を伴う）場合はすぐに受診が必要だが、一過性の頻脈や、興奮（不安）時や疼痛時、入浴後や飲酒後、薬剤性のものは様子を見てよいとのことである。また、徐脈（60/分未満）かつ症状（めまい、ふらつき、失神）がある場合はすぐに受診が必要であり、一時的な徐脈や薬剤性のものは様子を見てよい。血圧については、普段との比較が重要であり、自覚症状やその他のバイタルサインを考慮に入れて評価する必要がある。体温については、測定環境に左右されやすいが、異常時でもその絶対値より患者の自覚症状が重要である。最後に、医科歯科連携について具体的に連携大学病院での実例をもとにまとめを述べられ三森理事の挨拶の後、閉会となった。

今回の講演では、脳卒中疾患や患者の全身状態と歯科との関わりを、具体的に説明され、医科歯科連携の重要性を改めて再認識するものであった。

（近藤 俊輔）

委員会報告

タイムリミットが近づいています！！

― オンライン資格確認導入義務化説明会 ―

厚生・医療管理

11月５日（土）午後４時より県歯会館にて東和ハイシステムの中山愛氏、BBIQの古賀博文氏のご協力により会員40人の参加の中、ハイブリッドでの説明会が開催された。最初に東和ハイシステムの中山氏より、オンライン資格確認の手続きの流れの説明があり注意すべき点として下記が挙げられた。

⑴　令和５年４月からのオンライン資格確認導入の義務化にともないポータルサイトにてアカウントの登録、カードリーダーの申請後は

①令和５年２月までに設置業者との契約

②令和５年３月31日までにオンライン資格確認導入完了

③令和５年６月30日までに補助金申請

が、補助金交付の条件となっており、その期日以降に導入された場合は自己負担となっている。

⑵　回線は、レセプトのオンライン請求との兼ね合いもあり医院ごとに条件が違うので不明なところはレセコンベンダーへ相談することが望まれる。

次にBBIQの古賀氏より、レセプトオンライン接続、オンライン資格確認システムのネット環境構築について説明があった。

最後に工藤理事より法外な手数料を要求する業者もみられるため、まずは見積もりで業者を見極め、不審に感じられたら本会に連絡をするよう説明があった。

手続きの流れを説明する中山氏

2024年度中には、現行の保険証の原則廃止となっており、オンライン資格確認原則義務化の例外である紙レセプトの診療所でも2024年度以降の患者の保険証の確認の為には、オンライン資格確認の導入の検討が必要ある旨、説明があった。説明会終了後は、個別相談会となり個別の案件について東和ハイシステム・BBIQに対応していただいた。

タイムリミットが迫っており早期の準備が求められるが、導入率は、まだ低い状況であり手続きが完了している医院も運用が適切にできるのか、確認することが大事であり、早期の準備が必要と痛感させられる説明会となった。

（宮本 徳郎）

委員会報告

歯科医療の方向性

― 認知症対応力向上研修会 ―

地域保健Ⅱ

10月29日（土）午後２時30分より、県歯会館にて、標記研修会がハイブリッドで開催された。Zoomによる参加者が75人で、会場は少数だったが、参加者は最後まで熱心に聴講していた。

町田理事の進行のもと、松本副会長と県健康福祉部長寿社会局認知症対策・地域ケア推進課の本田敦美課長の挨拶で始まった。

松本副会長は、「超高齢社会が進む中、新オレンジプランに伴って、歯科でも認知症に関する知識と技術の習得が求められている。熊本県ではこれまで年に２回の研修会（ここ２年はWeb配信）を行って来ており、認知症の専門知識を有した多くの歯科医療従事者の育成を今後も続けていく」と述べた。

また、本田課長は、「日本における認知症の増加は周知の通りであり、2025年には全国で700万人、熊本県で11万人が認知症になると予測され、口腔機能低下症（オーラルフレイル）とも深く関連していると話され、それに伴い歯科医療従事者も認知症及びそれに関わる家族や関係機関・施設について理解し、早期発見と早期対応に繋げてもらいたい。」と述べた。

新オレンジプランとは、「認知症の人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らしを続ける事が出来る社会を実現する」ことを目的に、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて厚労省によって策定され、認知症施策推進総合戦略ともいう。

研修はまず、県健康福祉局福祉部高齢福祉課の宮崎真悟主任主事が、認知症施策推進大綱と主な認知症施策について詳しく説明した。

次に、在宅支援クリニックえがお代表の山内勇人先生による「認知症との向き愛かた」というタイトルの講演があった。「認知症を理解するには相手の言葉ではなく、些細な行動から読み取る繊細な気づきや専門知識が必要であり、本人がどうしたいのか？周囲のみんなで考えて行くことが大切である」と述べた。

専門知識を活用して認知症と向き合い方を話す山内先生

次に、東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科の平野浩彦部長により、「認知症の人の口を支える視点：出来ない理由にしないために」というタイトルの講演があった。平野先生は、認知症患者の歯科臨床現場の動画を交えながら、「些細な環境の変化が患者の行動に大きく影響するため、まず、相手の目を見て、話して、触れることによって、不安や恐怖を取り除くことが大切」と述べた。

最後に長野常務理事が謝辞の中で、「現在、在宅歯科医療連携や歯科歯科連携のモデル地区事業を進めているが、今後ますます訪問歯科診療等でも認知症患者に接する機会が増えて行くだろう。これを踏まて、今日の講演は、現在かつ将来に向けて問題となっている歯科医療の方向性を示してくれたものであり、非常に参考になり、勉強になった。我々は今後も、やるべき事をやっていかなければならない」と述べて研修会は終了した。

（古田 洋介）

委員会報告

初めて熊歯衛祭に参加

― 熊歯衛祭（学院文化祭）―

学校歯科

11月13日（日）午前10時30分より学院校舎及び校庭にて熊歯衛祭が行われた。学校歯科委員は学校歯科医が各学校との連絡を図り、歯科衛生士の認知度を小学生の頃から広くアピールし学生募集に繋げたいとの目的で今回初めて参加した。開会式で石井理事の挨拶、その後２階の実習室に移動し、受付が始まり、お口のエステ・赤染め体験・歯型採り体験コーナーが催された。我々開業医では日常的に行っているPMTC、TBI、歯型印象だが学生達の動きはどうだろうと見ていたが、てきぱきと手順良く作業をこなしていた。卒業生も手伝いに来てもらって体験学習を進めていた。人手不足の中、明日からでも自院に来てもらいたいと思える優秀な学生さんたちだった。ここまで来るのは学院の先生方の厳しい教育と努力の成果だと思った。役割をこなす間に実習室の設備も見学してきた。チェアはオサダとタカラベルモントの２種類あり最新の機械だった。滅菌機も何種類かあり卒業後に困らないようにとの配慮だった。口腔内カメラや根管治療用のマイクロスコープも設置されていたのは驚きであった。どの会場も盛況で、学生さんたちも会場の参加者も楽しんでいるのが伝わってくるとてもいい熊歯衛祭であった。学院の学生会代表の６人と学校歯科委員との事前打合わせが、３年ぶりの開催を成功に導いたように思えた。

子どもたちも多数参加

海外の歯科衛生士の地位は日本と比べ事情はかなり違う。北欧では歯科衛生士になるのが難しい。それだけ専門性が高い職業だ。日本では法的および財源の縛りがあり欧米の先進的なレベルは困難だが、歯科衛生士の専門性を高めていく努力は必要と思う。在学生の約半分が志望動機として歯科医院での体験が元になっている。熊本版キッザニアの実現、または各小学校で行われている職場体験学習、各学校に出向いてゲストティーチャー（学習支援活動）等を通して歯科衛生士の魅力を発信していく必要がある。来院する高校生に話しをしていたら卒業先に歯科を選択してくれた何人かの高校生がいたが、自院に来る高校生に歯科進学をアピールするのも有効だと思う。

（川井 哲郎）

委員会報告

愛し方

― 歯周病プロジェクト講演会 ―

学術

11月13日(日) 山本浩正先生（大阪府開業）を講師に迎え県歯・県歯科衛生士会共催で標記講演会が県歯会館とWeb配信のハイブリッド形式で開催された。

本講演は県民の歯周環境を改善すべく県歯が取り組む歯周病対策プロジェクトの一環である。講演は「愛し方」ベースとして進められ、自身の紹介「山本の愛し方」として自身の著書連載、同窓である大阪大学の天野敦雄教授との関係性をユーモアを交え語り会場を温めた。続いて「患者さんの愛し方」として山本先生が監修したペリオ管理ソフト「デネットシステム」の活用法を紹介しつつ転勤の多い患者さんのケースを提示しながら、急性壊死性潰瘍性歯肉炎（ANUG）について*Fusobacterium*等の特定の細菌や強いストレスの関与について述べ、新分類において潰瘍は壊死の結果であるため、潰瘍を示すUは表示しないことが増えている事、適切なケアを継続することにより歯肉炎から歯周炎に進ませないことが重要であると述べた。宮子あずさ看護師の著書中のフレーズ「病気は罰ゲームじゃない」を引用し、日常臨床において、肯定的な思考の上で従事することの効用を述べた。

続いて「歯磨きの愛し方」として、セルフケアのエビデンス確認に、論文検索サイトPubMedについて、参加者のスマホで実際の検索を体験させた。歯周病動的治療時とメインテナンス時のブラッシング指導は分けて考える必要があり、動的治療時のゴールはよくなることであり、悪いところを見つけ指導し、アンダーブラッシングを監視する必要があり、よくなっていく過程を実感させる。メインテナンス時のゴールは悪くならない事であり、中断を防ぐ為、良いところを見つけつつ、オーバーブラッシングを監視する。ま

会場とWebで約300人が参加した

たチェアー上の患者の口腔内はよそ行きであると述べた。「器具の愛し方」歯科における二酸化ケイ素の恩恵を述べ、シャープニングストーンにおいてはアーカンサスストーンの産地、生成過程、物性を説明し、歯磨剤、PMTCペーストの研磨剤についてはフッ化物との併用時に相互作用を考慮する必要性を述べた。歯科衛生士はマイスケーラーを持つことを勧め、グレーシーキュレットは和包丁と同じく片刃であり、山本先生の好物であるガーリックチップの味わいに違和感を感じた際、原因が切れない包丁を使用することでえぐみが出たことを示し、スケーラーはシャープニングにより育てられ、ストーン使用時のSludge detection、Acrylic test stickの使用、ホワイトラインの目視によるGlare testの研磨状態の確認法を示し「私の求める研磨状態ではない」という感性が必要であると述べた。京都大学の川上浩司教授が研究する不便益を引用し、「楽と楽しいは共存しにくい」「便利は習熟を許さない」のフレーズを用い、「不便」であるハンドスケーリングを求道することが仕事の喜びにつながっていくと述べた。最後に石崎ひゅーいのメロディーに乗せた歯科衛生士への応援歌をクロージングとして上映し目を潤ます参加者も散見される中、講演は幕を閉じた。

（理事　馬場 一英）

委員会報告

歯内療法の基本原則と現在の潮流

― 学術講演会 ―

学術

11月20日（日）午前10時よりデンツプライシロナ㈱共催で標記講演会が県歯会館で開催された。

講師は牛島歯科医院エンドオフィス院長で歯内療法専門医の牛島寛先生（福岡県開業）で、椿副会長の挨拶後、講演が開始された。

歯内療法領域では新しいコンセプトを持つニッケルチタンロータリーファイルやMTAセメントなどの器具や材料が次々に登場しているが、それらを用いることで歯内療法の成功率が上がる訳では無く、歯内療法の基本原則の理解と遵守が欠かせないことを先触れし、不可逆性歯髄炎（炎症）と歯髄壊死（感染）の進行過程を説明、歯内療法のターゲットが違うことを理解しなければならないこと、歯内療法のゴールとして根管内の細菌除去（Bacteria Reduction）と歯質の保存を考え治療を行なっていくことが重要であると説明があった。

歯内療法では、まず診査診断を適切に行い、ラバーダムなどを用いて無菌的な環境を確立する基本コンセプトを遵守すること、治療戦略としてルートキャナルトリートメント（根管形成・化学的洗浄・貼薬）・外科的歯内療法を適切に行う必要がある。歯質の保存において、アクセスキャビティを出来るだけ小さくする事が望ましいが、ファイル破折やレッジ形成などのトラブルが起こる可能性が大きくなることを考慮しなければならない。歯内療法の成功率を上げるためには、できるだけ簡便で早く効果的な治療法を選択する必要がある。根管形成において、ファイル破折が起こる原因（ねじれ破折と疲労破折）を説明し、従来のステンレススチールファイルとニッケルチタンロータリーファイルの比較、ロータリーファイルの利便性の説明があり、症例・動画を提示し治療手順の詳細を説明した。アクセスキャビティプレパレーションとしてエンド三角の除去の方法では、超音波スケーラー用チップを用いると安全に行うことができるとのこと。根管作業長の決定は、歯内療法の成功率に直結するため重要であり、レントゲンのみで決定はできず電気的根管長測定器を用いAPEX（解剖学的根尖）から1㎜短くする。根管形成において、ファイルのみでは最大60％程度しか根管壁を触れていないため根管洗浄が重要になってくる。根管洗浄は、次亜塩素酸ナトリウム溶液とEDTA

参加者60人が牛島先生の講演を熱心に聞いた

が推奨される。次亜塩素酸ナトリウム溶液は抗菌性・組織溶解性・細胞毒性から2.5～5.25％が望ましく、講師は３％で行なっている。EDTAは17％でスメア層の除去を目的に使用する。ニードル外径は最終拡大号数より細いものを用いて、洗浄液は作業長付近まで到達できるようポンピングさせながら圧をかけないように入れる。根管充填前の最終洗浄時にはアクチベーションを行うことで洗浄効果を高める。根管貼薬は水酸化カルシウムを錬ってレンツロやロータリーファイルを用いて根尖孔外に出さないように注意する。根管充填について側方加圧法、垂直加圧法、シングルコーンテクニックについての説明があり、それぞれの手順、使用する器具について動画で詳しく説明した。現在は親水性があり、効果膨張するバイオセラミックシーラーを使用することが潮流になっている。根管形成の規格にあったガッタパーチャを用い、根管充填のタイミングは疼痛の有無は関係なく、根管内の細菌減少のステップが完了したら行う。根管治療を行なっても治癒しない原因としては、解剖学的根管形態の問題、グラム陽性通性嫌気性球菌による微生物学的要因、根管治療の限界があり、その場合は外科的歯内療法が必要であり、現在では器具や材料の進歩で90％の成功率を得ることが可能となっている。最後の症例では、再度、歯内療法における診査診断が如何に重要であるかを提示した。

今回の講演会は、歯内療法の守るべき基本原則と臨床上アップデートできるポイントが症例を通して理解できた。また質疑・応答では多くの質問が挙がり、それらにも丁寧に答えて頂けて大変有意義なものであった。

（豊田 正仰）

報　告　歯の健康と生活習慣病予防～健康長寿は歯から～

― 市町村国保運営協議会委員並びに国保主管課長等合同研修会 ―

11月９日（水）熊本テルサにおいて、熊本県国保連合会主催による標記研修会が開催され、市町村国保運営協議会委員並びに国保主管課長等約170人を対象に、牛島専務理事による講演を行った。

国保連によると熊本県の一人当たり医療費は全国９位と高く、国保財政の安定化の観点からも、県民の健康増進を図る取り組みが重要な課題として捉えており、今回の講演もその一環であった。

参加者からの質問では、「北欧スウェーデンでは、口をゆすがない予防法が有効とされていますがその効果は本当にあるのか。」、「歯周病の人が入れ歯にすると治るのか」などの質問があり、参加者の口腔に対する関心の高さがみられた。

会場からは多くの質問

（事務局　財満 健典）

報　告　伊藤会長が田嶋・木村副知事を訪問

11月17日（木）伊藤会長が県庁に田嶋副知事、木村副知事を訪問した。

伊藤会長から両副知事に、Withコロナ時代の歯みがき「口閉じ歯みがき」を提唱し、感染者が増加し、インフルエンザと新型コロナの同時感染が危惧される冬季での取組みの重要性を訴えた。

両副知事からは県民へのお知らせの中で、工夫・検討してみたいとのお答えであった。また、国民皆歯科健診の導入など、歯科の重要性が増していく中で県と本会の取組みを効果的に進めていくため、健康福祉政策の中枢への行政歯科医師の確保・配置や確保を要望した。

この他、本会が運営している口腔保健センターの新規患者の診療待機期間が１ヶ月以上あることや、静脈鎮静法（IVS）による治療は３ヶ月先まで予約で埋まっている現状を伝え、さらなる支援・連携をお願いし、両副知事も理解を示された。最後に、田嶋副知事から県下全域でのフッ化物洗口の取組みについて、引き続きの協力依頼があった。

木村副知事（左奥）、田嶋副知事（真ん中）に説明する伊藤会長

（事務局長　岡﨑 光治）

天草郡市歯科医師会

天草の歯と口の健康を願って

― 第２回天草市健康のつどい ―

11月12日（土）午後１時より第２回天草市健康のつどいが複合施設“ここらす”にて開催された。

天草市・天草郡市歯会による行事で「おとなの歯科健診」、「子どものフッ化物塗布」、「おくちの細菌検査」が実施された。コロナ禍でのイベントであり全て事前予約のもとに行われた。

「おとなの歯科検診」には３人の歯科医師が出務し、「子供のフッ化物塗布」、おくちの細菌検査（RDテスト）は歯科衛生士が担当した。

天草市はむし歯の子も多いのでその改善に役立てばと思った。なおこれに先立ち8020達成高齢者の表彰が行われ、また施設の入り口では

歯科健診を行う伊東会員

天草市小学生による歯と口の健康に関する図画・ポスター入賞作品の展示が行われた。

（内崎 祐一）

創立90周年記念式典行われる

― 天草郡市歯会創立90周年記念式典 ―

11月19日（土）午後５時より天草市のサンタカミングホテルにおいて標記式典が開催された。

元々昨年５月に行われる予定だったが時節柄の影響で延び延びになっていた中、県歯から伊藤会長、牛島専務理事をお招きして無事開催することができた。

竹中副会長の開会の辞のあと、80周年から90周年の間に逝去された故松田愛人先生、故蓮田政仁先生に対して黙禱が捧げられた。続いて中嶋会長が式辞の中で昭和６年より14人で県歯天草支部として発足したいきさつから、現在64人の会員数となった経緯について説明された。引き続き伊藤県歯会長から祝辞を頂戴し、長きにわたって本会を継続・発展に尽力してこられた先達の先生方、並びに現在活躍している会員の先生方の労をねぎらわれた。

更には青砥常務理事によりこれまでの90年の歩みをまとめたスライドショーが行われ、貴重な昔の写真（文字通りセピア色の）等の解説に皆感嘆しきりだった。スライドの最後には内崎理事の肝いりで、天歯が誇る昭和44年建立の「歯恩の碑」前から飛び立ったドローンからの旧本渡市街の空撮の映像が流れ時代の潮流を感じることとなった。

参加者全員で記念撮影

続いて天草郡市歯会役員功労者（久々山元会長、山本源治元会長、森口前会長、蓑田太司前理事）並びに永年勤続者（全117人、代表上田康彦氏）の表彰が行われ、代表して久々山先生が謝辞を述べられた。小田副会長の閉会の辞により会は滞りなく終了し、記念祝賀会場へ移動した後、参加していた会員の先生方それぞれにこれまでの思い出や今後の展望について大いに語り合われた。

来たるべき100周年に向けて、これからを担う若手会員の大いなる活躍を期待するのと同時に、会の繁栄の為、節目の年まで各先生方にはまだまだ現役続行をお願いしたい所存です。

（槌本 亮二郎）

菊池郡市歯科医師会

３年ぶりの対面で熱い講演

― 学術講演会 ―

本年度の学術講演会は、コロナ禍に入ってから初の対面での講演会という形で、福岡県で開業されている北九州歯学研究会会員で日本臨床歯周病学会指導医、日本顎咬合学会指導医の榊恭範先生に「抜歯か保存かの判断に苦慮する歯への対応とインプラント」という演題で、３時間にも渡る熱い講演をしていただいた。多くの先生方が出席され、非常に活気と熱気にあふれており、対面での講演会がやはり良いと実感した。

講演内容は、榊先生の30年以上にわたる臨床経験のなかで、基本的な歯科治療、歯周治療をまずはしっかりと行い、保存が厳しい予後が悪そうな歯でもまず残す努力をする。その上で経過をしっかりと観察し、いよいよ持たなくなったらインプラントに変えていくといった数多くのケースを示していただき、天然歯を大事にする榊先生の姿勢と、一つ一つの基本治療のレベルの高さが見える症例が続き、感動するばかりであった。

多くの臨床ケースを提示しながらの講演であった

長丁場ではあったが、多くの臨床ケースを提示していただき、経過も長いケースばかりなので非常に興味深く、参加された先生方も満足したのではと思う。

（植木 修平）

会館に来場者50人越え

― 第34回歯とお口の健康展 ―

11月20日（日）に標記イベントを開催した。令和２年、３年は新型コロナ感染症のため中止となり、今年も開催が危ぶまれる中でなんとか開催に漕ぎ着けることができた。徹底した感染対策のもと、入場制限を行いながら参加者は50人を超えた。会員の先生方と久しぶりに顔を合わせる良い機会にもなり、会員間で親交を深めることもできた。

今年は菊池郡市歯会館での開催となったが、もともと菊池郡市管内（菊池市、菊陽町、合志市、大津町）で持ち回り開催を予定しており、来年はぜひ合志市で市役所とタイアップしての開催ができることを期待している。

説明を聞く参加者

（丸田 忠勝）

江藤寛文会員　文部科学大臣表彰受賞伝達式

11月10日（木）午後２時　於：盛岡市民文化ホール
令和４年度学校保健及び学校安全表彰

江藤会員と奥様、伊藤会長が出席し開催された。

一瀬英輔会員　叙勲伝達式

11月12日（土）午後６時　於：県歯会館
叙勲「瑞宝双光章」

一瀬会員が来館され伊藤会長、椿副会長、牛島専務理事出席のもと開催された。

身元確認マニュアルPart②

身元確認における作業内容

身元確認とは「生体や死体について、その身元を確認して氏名を明らかにすること、また死体の一部の他に、人体由来のものおよび人体が他の物体に残したものについて、その由来を決定すること」と定義されている。一般的な身元確認の方法としては、面確（顔を見て確認する）、身分証明書、所持品、着衣、身元的特徴、血液型、指紋、DNA型そして歯科所見等が考えられる。歯科医師が歯科所見から身元確認を行う際の具体的な活動には、

１）死後記録の採取と整理
２）生前資料の収集と生前記録の作成
３）照合
４）事後措置等の４項目が挙げられる。

■死後記録

１）死後記録の採取と整理

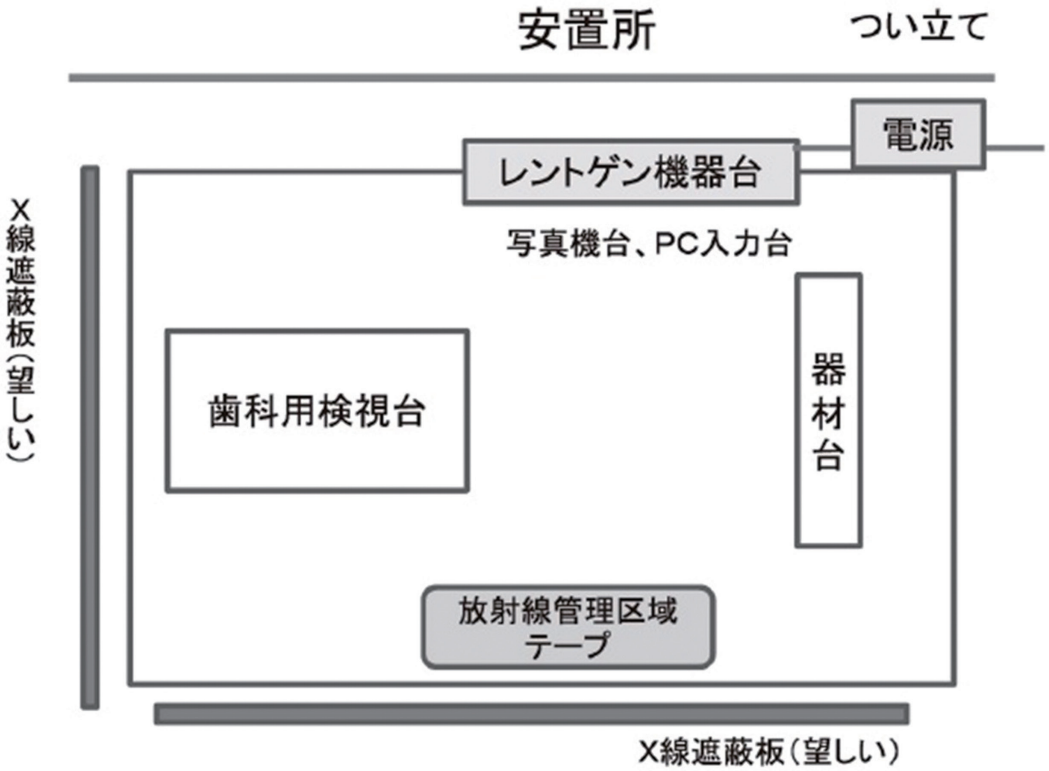
遺体収容所に出動した歯科医師は、デンタルチャートの作成、口腔内写真撮影、エックス線写真撮影等の死後記録を採取し、必要な時にいつでも取り出せるように分類・整理する。

⑴　作業時の留意事項

①検死の前後には遺体に合掌し、礼を失することのないようにする。（遺体への敬意と遺族への心情への配慮を常に念頭において作業に従事することが極めて重要である。）
②歯科医師２名によるダブルチェックシステムを基本とする。（検査者と記録者になるが、所見採取後にその役割を交代し、再度所見を確認して誤記等を防ぐ。）
③検査の手順や歯科所見の読み上げ方を事前に打ち合わせる。（検査者の所見の読み違いや、記録者の聞き違い・書き違いを防ぐ。）
④照明器具による十分な採光の下に行う。（光源の保持者を配する等、十分な採光が正しい所見を取ることにつながる。但し、発災初期の電源がない場合を想定し、ヘッドライトなどの準備をしておく。（基本的には警察が準備する。）
⑤検査者は感染防止のため、必ずゴム手袋を装着する。（遺体からの感染を防ぐため、検査時は必ず装着し、記録時ははずす。）
⑥開口不能時でも口角部分等の切開は行ってはいけない。（無理な開口による歯や顎骨の死後損傷にも注意が必要である。）
⑦口腔内が汚れている遺体は清掃してから検査、写真撮影、エックス線写真撮影を行う。（歯ブラシ等で汚れを落とし、ガーゼ等で水分を除去してから行うようにする。）
⑧疑わしい場合は断定せず、ありのままを記載する。（判断できない場合は、状態の記載にとどめるか、身元確認班の責任者または現地コーディネーターに相談する。）
⑨歯冠色の材料による充填や修復には特に注意する。（歯頸部や裂溝へのレジン充填等を見落とさないようにする。）
⑩すべての歯の所見欄に空欄がないようにする（確認できたことを記載し、不明な場合は「不明」と記す。）
⑪死後脱落した歯は義歯と同様に別に保管する。

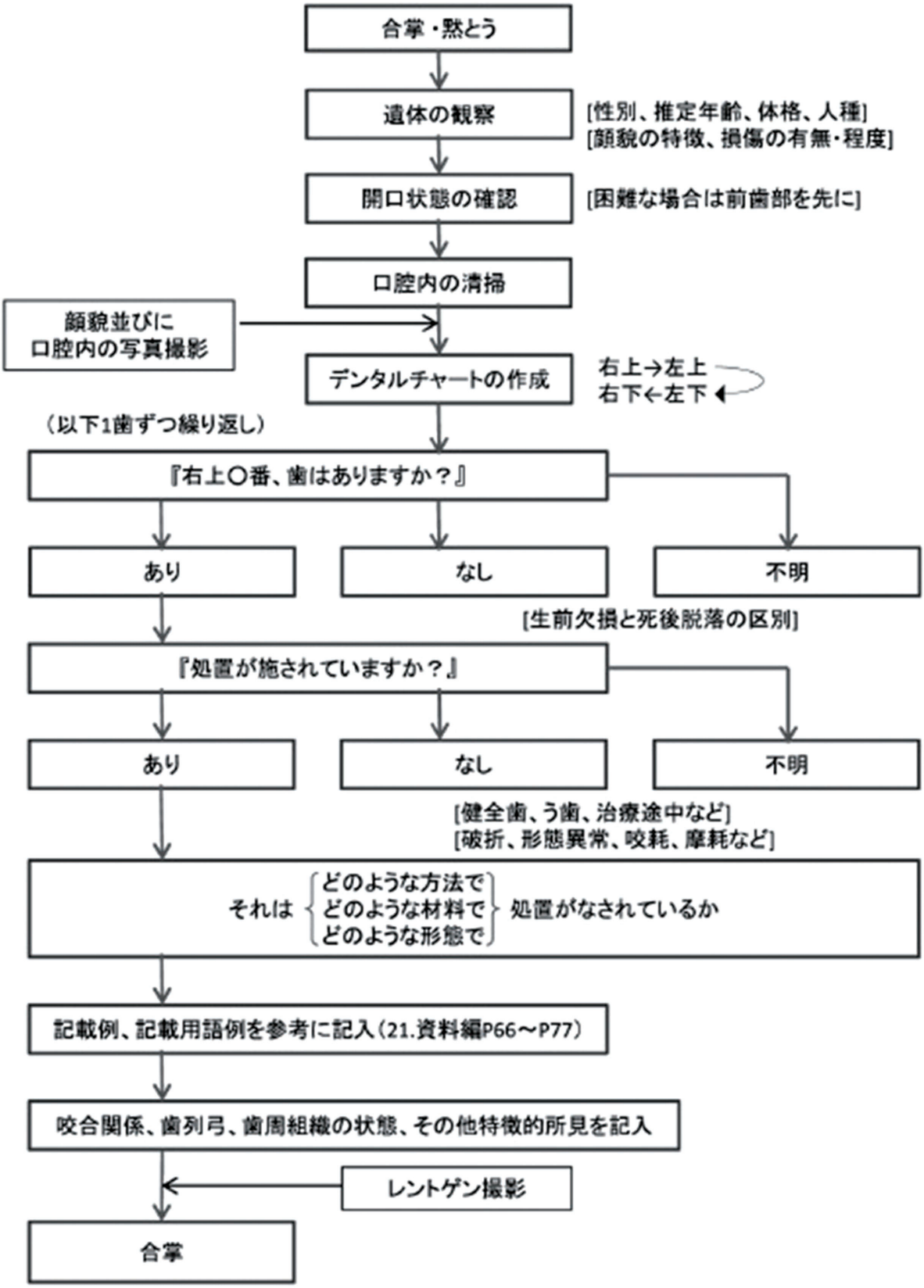
⑵　検死環境の整備と資器材の準備

大規模災害時等に、所管警察署以外に遺体収容所が多数設置される場合、早期に歯科検視台の配備要請することにより作業が円滑となる。



※検視台は、会議用テーブル２台程度を用い、全体をブルーシート等で覆うことにより簡易検視台を設置する。
※器材台を置く台は、清潔、不潔区域を明確にする。
※レントゲン装置や口腔写真撮影PC等の精密機器台においても、清潔・不潔（義歯等撮影やレントゲンセンサー置き）区域を設ける。
※レントゲン撮影も同台で行う場合、放射線管理区域を設ける。（概ね２ｍ以内）
※検視場と遺体安置所が併せて設けられた場合、できるだけ早期に遮蔽する。

(3)　具体的手順


合掌・黙とう
遺体の観察
[性別、推定年齢、体格、人種]
[顔貌の特徴、損傷の有無・程度]
開口状態の確認
[困難な場合は前歯部を先に]
口腔内の清掃
顔貌並びに
口腔内の写真撮影
デンタルチャートの作成
右上→左上
右下←左下
（以下1歯ずつ繰り返し）
『右上○番、歯はありますか？』
あり
なし
不明
[生前欠損と死後脱落の区別]
『処置が施されていますか？』
あり
なし
不明
[健全歯、う歯、治療途中など]
[破折、形態異常、咬耗、摩耗など]
それは
どのような方法で
どのような材料で
どのような形態で
処置がなされているか
記載例、記載用語例を参考に記入（21.資料編P66～P77）
咬合関係、歯列弓、歯周組織の状態、その他特徴的所見を記入
レントゲン撮影
合掌

リレー投稿 73

一卵性双生児

阿蘇郡市　脇デンタルクリニック　脇 勇士郎

プライベートでも家族共々親しくさせていただいている影下会員からバトンを受け取りました。今年の５月に阿蘇市内牧で開業致しました、脇勇士郎と申します。

開業してから驚いたのが診療以外の仕事の多さです。以前は師匠である添島正和委員のもとで勤務していたのですが、診療だけに集中させてもらえる環境がいかに恵まれていたのかを痛感しています。がむしゃらに仕事をこなしていましたが、気付けばあっという間に半年が経ちました。慣れない仕事に追われ、家族との時間もあまり取れず、寂しく思うこともしばしば…。今回はそんな私の息子たちについて少し書いていこうと思います。

私には今年で３歳になる一卵性双生児の息子たちがいます。一卵性双生児は遺伝子情報がほぼ100%同じといわれておりますが、うちの息子たちは外見こそ多少は似ているものの、本当に一卵性？と思うくらい内面が似ていません。兄は少食、弟は大食い、片方がせんべいを欲しがれば片方はクッキーを欲しがる。他にも好きな映画や歌など趣味の違い、えくぼの有無やつむじの向きなど身体的な違いなど、驚くほど正反対な事が多いです。中でも面白く感じたのが、兄だけに癒合歯があった事です。顎の形や歯の萌出時期はほとんど同じだったのですが生えてきてびっくり。０歳でもはっきりとした違いがありました（笑）

歯科医師として、父親として家族を守ります

内面は似ているのか…？

性格や好みも似ていない彼らですが、おもちゃだけは何故かいつも同じものの取り合いでケンカばかり…。どうせならおもちゃの好みも全く別でおだやかに過ごしてくれよと思う日々です。

元々子供を授かる前、妻とは「双子だったらどうしようか？」などと冗談交じりに話していたのですが、エコー写真で本当に双子だと分かった時は驚きました。また、実際に双子を授かると色々と大変な事がたくさんありました（主に妻がですが）。妊娠中の出産リスクや出産後のお世話など、もちろん楽しみも２倍ですが、かかる労力や不安も２倍でした。夫婦で毎日慌ただしく過ごしていたのが懐かしいです。今後もこの全く似ていない子供たちの成長が楽しみです。

実際に子育てを経験してみて、仕事に子育てにと奮闘されてる諸先輩方はあらためて本当に凄いなと感じています。自分も開業したばかりの未熟者ですが、父親として、歯科医師としてがんばらねばと感じている次第です。

次回は、大学の同期で僕の数少ない友人である吉永義優会員にバトンをお渡ししたいと思います。

熊歯乙女のひとりごと㉕

私の好きなこと

熊本市　リコデンタルクリニック　神﨑 理子

熊本市の競輪場の近くで開業しております神﨑理子と申します。東京歯科大学を卒業し、現在開業して15年になります。この度、熊歯乙女のひとりごとの投稿で何を書こうかと悩みましたが、女性会員の紹介ということで自己紹介をさせていただきます。

私の名前ですが、漢字で理子と書きます。するとほぼ100％の皆さんが「リコ」と呼びます。ですが私の名前は「マサコ」と言います。エモい名前です!!（笑）

幼いときは、学校の先生も読めない呼び名に何かしら優越感があり誇らしげだったのですが、大人になったら一々呼び名の訂正をすることが面倒になり、改名でもしようかと思いましたが、名付けてくれた両親が可愛そうなのでこの状況を受け入れています。

クリニックの名前も「リコデンタル」と名乗らせてもらってますので自分ではリコでも全然大丈夫なのですが、公式の場で名前を呼ばれると一瞬「名前間違ってない!?」という間が起こり、その場の雰囲気に「大変申し訳ない!!」といつも思っています。

そんな私ですが、私の好きなことについても書かせてもらいます。

私は、大学時代はゴルフ部に所属しており、今でもゴルフは好きで続けています。スコアは、大学時代から何の進歩もありませんが、楽しくラウンドすることで健康維持とストレス発散に多いに役立っています。

誰でも行けない素敵なハワイの会員制ゴルフ場

♬ウイスキーが、お好きでしょ♬

旅行も好きで今年は、友人が住むハワイでゴルフ三昧の計画を立てており、今から楽しみでしょうがないのですが、コロナと円安インフレの影響が少しでも落ち着いて渡航しやすくなることを今は強く願っています。

もう一つ私の好きなことといえばお酒を嗜むことです。勿論、アル中でもキッチンドランカーでもなく上品な酒好きです。（笑）好んで飲むのはシャンパンで、ワイン、ウイスキー、日本酒、とりあえずこのラインは、コロナ禍で自粛期間中は本当によく飲みました。自宅のワインセラーは、選り取り見取りのお酒のラインアップでいつも満たされています。

最近は、なかなか手に入りにくい国産ウイスキーの収集に勤しんでますが、「酒は百薬の長」といわれる程度でこれからも楽しんでいきます。

ここまで紹介した内容だと残念ながら女子力高めが微塵も出てきませんが、意外(?)と女子力も高めですのでこれを機会に私を見かけたら是非お声がけをして下さい。マスクの下で120％全力笑顔でお答えします。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。最後まで読んでいただき本当にありがとうございました。

年男・年女インタビュー

①氏名（敬称略）
②生年月日
③今年の抱負
④昨年のニュース（出来事）の中で、どんな事が印象に残りましたか
⑤今、関心があること
⑥健康のために留意していること

卯年

①下山　純生
②昭和26年１月15日
③新しい事やあまりできていない事にチャレンジしたい
④生ゴミとして庭に捨てた場所から時期はずれの11月中旬に美味しいスイカとカボチャができた事
⑤溜まるばっかりのものを片づけてときめきたい
⑥コロナでジムをやめたので、YouTubeのフィットネスで体を動かしています。お気に入りはマリナさんです。

落日

①緒方　講治
②昭和26年２月15日
③九州一周クルージング
④デフレからインフレへの転換
⑤老化の速さ
⑥過食をさける

生涯現役

①森　　隆文
②昭和26年７月20日
③サッカー日本代表監督の森保さんが言っていた「空行雲流」という言葉に私も感銘を受けましたのでこの言葉を私の今年の抱負とさせていただきます。
④･コロナの終息の明かりが未だ見えない事。
・ロシアによるウクライナ侵攻
・安倍元首相の暗殺
⑤・女房といっしょに早く大好きなハワイ旅行がしたい。
・ゴルフスコアアップ
⑥・週２回のスイミングとジム
・サプリメント
・月１～２回のゴルフ

エッ！もう干支が

①奥村　敏之
②昭和26年７月24日
③健康寿命の期間が短くなって来ただけに、残された時間今まで出来てない事への探求を心掛けたいと思っています。
④今年は世界が戦争と感染で緊迫しています。それに類しての経済状況の著しい変動が残りました。
⑤とにかくロアッソをＪ１に！が願いです。
⑥毎日走って週末は馬で走っています。

いつまで？

①蔵田　幸一
②昭和26年７月26日
③令和５年もつつがなく過ごせますように！
④なかなか終息を迎えないコロナ禍
⑤いつまで仕事できるか？
コロナはいつ落ち着くのか？
⑥別段注意していることはありません。以前と変わらぬ生活をしています。

無題

①安田　光則
②昭和26年11月17日
③身体、体力がガタ落ちですが、日本人特有の気力・精神力でがんばっていく…かな？
④やはりウクライナ。少なからず心を痛めてましたが、先日ウクライナの女性が治療に来られその弾けるような笑顔に癒されました。
⑤特になし。愛馬とともに疲れ果て、夢は枯野を駆けめぐる。

⑥主治医からは厳命されてますが、運動は疲れるからやらない!!
食事制限は好きなもの食べたいのでやらない!!こりゃダメだ。

笑う事は免疫力アップ！

①工藤　孝昭
②昭和38年１月23日
③５kg痩せたい。
④娘のカナダ留学で、そのカナダからLINE無料電話が、めちゃくちゃきれいに聞こえた事
⑤昨年から山鹿で野菜栽培を始め、自分が育てた野菜を食べる。
⑥日々楽しんで笑う事とヤクルト1000を飲んでいる事

生涯青春

①秋山　　清
②昭和38年３月２日
③自分に出来ることを様々な角度から考え、実行すること
④母校出身「村神様」の56号ホームラン
⑤歯科医師の倫理観～明るい未来の歯科界のために～
⑥・体調の変化に、常に敏感であること。
・ゴルフ・ボウリングの上達を目指しながら、愉快な仲間たちと、定期的に交流すること。

卯年

①高田　博樹
②昭和38年３月４日
③健康に留意して、今年こそ以前の様に楽しく過ごせる１年になりますように
④ロシアのウクライナへの武力侵攻。
⑤藤井聡太竜王の将棋
⑥飲酒を程々に

孔子曰く

①髙木　公康
②昭和38年４月１日
③還暦を迎え「知名」（天命を知る）から「耳順」（人の話に耳を傾ける）年代になりました。折り返しの人生、周りのアドバイスに耳を傾けながら「従心」へ向け齢を重ねてゆきたいです。
④色々な功罪はあるかと思うが、近年の日本のリーダーシップを発揮した安倍元首相が凶弾に倒れられた事。惜しい方を失くしました。
⑤高齢化、過疎化に伴う地域の疲弊
⑥朝５時に起床しヨガ。ランニングをした後、ピアノの練習…、そんな生活ができたらいいな、と思います（笑）

子育てもゴール間近

①阿久根秀典
②昭和38年４月13日
③いよいよ還暦に突入します。幼少時は「60歳･還暦」と聞くと“ずいぶんおじいちゃんだなあ”と感じていましたが、いざ自分が近付いてくると“ふーん…こんなものか”と感じています。健康寿命を保った状態の老化を目指しています。
④娘が結婚した事。また、息子も令和５年３月に大学卒業です。常々、娘は嫁に行くまで、息子は社会人になるまでが親の責任と考えていたので子育てもゴールに近付いています。
⑤ウクライナの今後。また、ロシア・中国・北朝鮮といった独裁政権の行く末。悲劇的結末が待っていると思いますが…
⑥週２回の筋トレ９種類３セット。気合が乗らない時は２セットだったり１セットだったりはしますが…

還暦

①池嶋　由希
②昭和38年５月１日
③心身共に健康で楽しく過ごせるように
④新型コロナ関連　ウクライナ関連のニュース
⑤・家庭菜園
・COVID-19が収束して、旅行へ行けるかどうか
⑥よく食べ、よく眠ること。

もういいかい？まだまだだよ

①山村　礼二
②昭和38年８月25日
③現在のいろいろな環境から脱出したい。
人の多い所で暮らしたい。
④プーチンの嘘。円安なのに株価が高水準のままな事。借金で作り上げた100兆超えの国家予算
⑤子供たちの未来。自分たちの老後。人手不足がいつまで続くのか？
⑥何事も過ぎない様にしている。

会務では先生方にお世話になっております。

①牛島　　隆
②昭和38年９月10日
③役員７期目となり、さらに本会と会員のために貢献できるよう頑張りたいと思います。また、新しい事にも挑戦したいです。
④参議院議員選挙で山田宏候補が当選したことと、安倍元首相が亡くなったこと。
⑤魚釣りと会務
⑥よく寝ること。

卯年

①鶴田　善久
②昭和38年10月９日
③とにかく１年間、大きな事件、事故もなく無事に過せればいいなと思います。
④７月に起きた安倍晋三元首相が殺害された事件。日本でこんな事が起きるのかと驚くとともにその後の某宗教団体へのマスコミからのバッシングにより結果的に山上容疑者の目論見通りになったと思いました。
⑤歯科界が今後、どのように変わっていくか。ウクライナ戦争がどのように決着するか。
⑥年令を考えてとにかく無茶をしない。十分な睡眠をとるように心がけています。

60代の青春が楽しみ！

①金本　良久
②昭和38年10月30日
③全力スマッシュ！
④夏前頃から、今までで一番体調を崩し、いまだ緩解せず…。
コロナ禍のマスク社会にうんざり。
スポーツで、大谷選手や村上選手の活躍で気持ちが明るくなった。
⑤みずからの健康回復と体力の復活と向上☆
お孫ちゃんがいよいよ小学校入学☆
⑥毎日のトレーニング（ランニング、ジム、バドミントン）

耳順す

①宮田　正孝
②昭和38年11月７日
③現状維持
④安倍元総理暗殺
初孫誕生
⑤「六十にして耳順す」そういえば、他を受け入れるようになった気がする。
無我な気持ちで一切に耳を傾ける余裕・素直さを持ちたいものです。
⑥毎朝のランニング

平和な一年となりますように…

①林田真紀子
②昭和50年10月25日
③昨年あたりからお年頃の不調が諸々出てきています
今年は健康に留意して笑顔多き充実した一年にしたいです
④安倍元首相銃撃事件
ロシア・ウクライナ問題
⑤腎不全の愛犬（17歳半と12歳）の体調管理
⑥地元の女性歯科医師仲間と時々ストレッチに通っています
あとまだ数回ですがピラティスを始めました
腰痛がだいぶ軽減したような気がします

会　務　報　告

自　令和４年10月21日
至　令和４年11月20日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	10月21日	県口腔保健支援センター　益城町学校保健会看護教諭部会（益城町保健福祉センター） 参加者：18人	宇治常務理事
	22日	第74回九州歯科医学大会受付事務説明会（鹿児島市・宝山ホール）	岡﨑事務局長他１人
		九地連役員会（鹿児島市・宝山ホール）	伊藤会長
		第74回九州歯科医学大会（鹿児島市・宝山ホール）	伊藤会長、牛島専務理事
	23日	第74回九州歯科医学大会厚生行事（鹿児島県各所） 野球、テニス、ゴルフ、囲碁（中止：剣道、ボウリング）	
	24日	第18回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）後援名義使用・共催依頼（３）静岡県への見舞金　ほか 【議　　題】 （１）関係機関・団体への会費等の納入（２）令和４年度熊本県委託事業に係る予算 （３）「いい歯の日」広告掲載　ほか 【協議事項】 （１）Lalalaテレビジョン学院ＰＲ動画	伊藤会長他全役員
	26日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	髙水間理事
		【Web】第３回災害時歯科医療供給体制検討会（各診療所） （１）御船保健所管内（上益城郡歯会）意見交換会 （２）八代保健所管内（八代歯会）意見交換会（３）意見交換会アンケート　ほか	松本副会長、牛島専務理事、永松・宇治常務理事、石井理事
	28日	第２回選挙管理委員会 （１）会長予備選挙日程及び役員等選挙日程 （２）会長予備選挙及び役員等選挙のスケジュール	中原委員長、蔵田副委員長他全委員、松本副会長、宇治常務理事
	29日	第43回全国歯科保健大会（群馬県・高崎芸術劇場）	牛島専務理事
	31日	第１回県ゼロカーボン社会・くまもと県民会議（ホテル熊本テルサ）	岡﨑事務局長
		社労士との打合せ	牛島専務理事、永松常務理事、椿理事、岡﨑事務局長
	11月１日	第26回常務理事会 （１）後援名義使用・共催依頼（２）令和４年度熊本県委託事業予算書（案） （３）女性歯科医師ネットワーク　ほか	伊藤会長他常務理事以上全役員
	４日	死因究明推進協議会（県庁）	永松常務理事
		第３回役員報酬等検討臨時委員会 （１）役員退職金試算（２）旅費試算	久々山委員長他全委員、伊藤会長、松本副会長、宇治常務理事
	７日	故那須智治先生叙勲伝達式	伊藤会長、牛島専務理事
		各委員会概算要求協議（センター･スペシャルニーズ、社保、学術、医療対策、地域保健Ⅱ）	椿副会長、牛島専務理事、永松・長野･宇治常務理事、五島･舩津･野田･馬場・椿・町田理事
	８日	第２回県口腔保健支援センター　歯科保健研修会（県市町村自治会館）	牛島専務理事、宇治常務理事
		県健康づくり推進会懇親会（熊本市）	伊藤会長、松本副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、髙水間理事
	９日	国保運営協議会委員研修会（テルサ）	牛島専務理事
		支払基金審査運営協議会（支払基金）	椿副会長
		各委員会概算要求協議（厚生・医療管理、学校歯科、地域保健Ⅰ、広報、医療連携）	宮井・松本副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、工藤・石井・髙水間・神﨑・三森理事
	11日	県看護協会「災害支援ナースフォローアップ研修Ⅰ」（県看護研修センター）	牛島専務理事
		【Web】第47回九州各県歯科医師会事務局職員研修会　担当：沖縄県	岡﨑事務局長他７人
	12日	くま歯キャラバン隊（人吉市・球磨郡）（ホテルあゆの里） （１）点数アップの為の保険診療のポイント：受講者：26人	野田理事
		一瀬英輔先生叙勲伝達式	伊藤会長、椿副会長、牛島専務理事
		【Web】次期日歯会長予備選挙立候補予定者小林慶太先生個人演説会 【Webex】ハイブリッド開催　小林慶太先生　参加者：会館14人、web ８人	伊藤会長、牛島専務理事、宇治常務理事
	13日	【Web】社会歯科学会「緊急課題対応ワークショップ2022」（診療所）	髙水間理事
	14日	【Web】次期日歯会長予備選挙立候補予定者「高橋英登先生個人演説会」 【Webex】ハイブリッド開催　高橋英登先生　参加者：会館13人、web18人	伊藤会長、牛島専務理事、宇治常務理事
	15日	三役会議	伊藤会長他専務以上全役員
		第27回常務理事会 （１）関係機関・団体への会費納入（２）後援名義使用・共催依頼 （３）関係機関・団体からの役員等の推薦　ほか	伊藤会長他常務理事以上全役員
		都道府県専務理事連絡協議会（日歯会館）	牛島専務理事
		月次監査　10月末会計現況監査	増田・水上監事
	17日	副知事面談（県庁副知事応接室）	伊藤会長、岡﨑事務局長
	18日	職員面談	牛島専務理事
		【Web】次期日歯会長予備選挙立候補予定者「柳川忠廣先生個人演説会」 【Webex】オンライン開催　柳川忠廣先生　参加者：21人	伊藤会長、牛島専務理事、宇治常務理事
	19日	天草郡市歯会90周年記念式典・祝賀会（天草サンタカミングホテル）	伊藤会長、牛島専務理事
学　術	10月21日	広報委員会との打合せ	馬場理事
	11月７日	歯周病プロジェクト講演会（11／13）リハーサル 熊本県歯科衛生士会との打合せ及び接続テスト	椿副会長、馬場理事、野田理事
	13日	歯周病プロジェクト講演会　演題『ペリオの愛し方』 講師：山本浩正先生　ハイブリッド開催	伊藤会長、椿副会長、馬場・野田理事他１委員

所管	日付	摘要	出務者
学　術	17日	【Web】日歯生涯研修セミナー打合せ	馬場理事、内野委員長他１委員
	20日	デンツプライシロナ共催学術講演会 演題『歯内療法の基本原則と現在の潮流―Minimally Invasive Endodontics―』 講師：牛島寛先生	椿副会長、馬場理事、内野委員長他２委員
		学術委員会	馬場理事、内野委員長他全委員
社会保険	10月29日	【Web】社会保険委員会（各診療所） （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）保険診療ハンドブック　ほか	椿副会長、舩津・野田理事、桐野委員長他全委員
	11月４日	社会保険個別相談会（大津町）相談者：１人	園田副委員長、市川委員
	10日	保険個別指導（熊本第二合同庁舎）	園田副委員長
	16日	保険集団的個別指導（県庁）	舩津理事
地域保健Ⅰ	11月６日	笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント（熊本市・びぷれす広場） 来場者（アンケート総数）：418人（アンケート用紙253人、webフォーム165人）	伊藤会長、松本副会長、髙水間・神﨑理事他全委員
	７日	ヘルＣキャンペーン無料歯科健診・相談（球磨郡）（至12日）（各会員診療所）	
	８日	ヘルＣキャンペーン無料歯科健診・相談（荒尾市）（各会員診療所）	
		ヘルＣキャンペーン無料歯科健診・相談（宇土郡市）（各会員診療所）	
		ヘルＣキャンペーン無料歯科健診・相談（玉名郡市）（各会員診療所）	
		ヘルＣキャンペーン無料歯科健診・相談（人吉市）（各会員診療所）	
	12日	ヘルＣキャンペーン無料歯科健診・相談（八代）（各会員診療所）	
		ヘルＣキャンペーン無料歯科健診・相談（天草郡市）（複合施設ここらす）	
地域保健Ⅱ	10月28日	【Web】歯科歯科（訪問歯科）連携モデル地区事業会議（各診療所） （１）掲示物追加報告（２）オンライン研修会 （３）口腔ケアステーションの人数確保　ほか	【Web】松本副会長、長野常務理事、町田理事、赤尾委員長
	29日	【Web】認知症対応力向上研修会 【Zoom】参加者：75人　講師：平野浩彦先生・山内勇人先生	松本副会長、長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他全委員
	31日	【Web】モデル地域と打合せ（各診療所） （１）玉名郡市小冊子作成進捗状況（２）水俣芦北研修会当日役割分担	松本副会長、長野常務理事、町田理事他６人
	11月８日	【Web】モデル地域研修会打合せ（各診療所）	井上水俣・芦北郡歯会専務理事他１人
	12日	【Web】モデル地域（水俣･芦北郡市歯会）研修会（県歯会館･国保水俣市立総合医療センター） 受講者：56人 講師：篠栗病院歯科　鈴木宏樹先生「食支援における口腔機能の重要性について」	松本副会長、長野常務理事、町田理事他９人
		地域保健委員会Ⅱ （１）研修会報告（２）講演会報告確認（３）介護者歯科実技研修事業打合せ	松本副会長、長野常務理事、町田理事、赤尾委員長他４委員
	14日	第１回県在宅医療連合会実務者会議（県医師会館）	松本副会長、長野常務理事
	16日	熊本市地域婦人会出前講座（熊本市中央公民館）　参加者：20人　講師：川野智美委員	川野委員
	17日	口の健康と食べる力を支える会（県庁）	松本副会長、長野常務理事
広　報	10月21日	学術委員会との打合せ	神﨑理事
	11月６日	笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント　取材（熊本市・びぷれす広場）	髙﨑副委員長、松枝委員
	10日	【Web】広報委員会 （１）熊歯会報12月号　第１校目校正	【会館】秋山委員長他２委員【Web】他３委員
	18日	【Web】広報委員会 （１）熊歯会報12月号　第２校目校正	【会館】神﨑理事、秋山委員長他２委員【Web】他３委員
学校歯科	11月２日	生徒保健委員連絡協議会（市民会館シアーズホーム夢ホール）	宮井副会長
	６日	図画・ポスター、習字コンクールならびに歯・口の健康啓発標語コンクール表彰式 （熊本市・びぷれす広場）	伊藤会長、石井理事他３委員
	９日	第72回全国学校歯科医協議会会長招宴（盛岡市・料亭京極）	伊藤会長
	10日	令和４年度全国学校保健・安全研究大会（至11日）（盛岡市民文化ホール）	伊藤会長
		第72回全国学校歯科医協議会（ホテルメトロポリタン盛岡本館）	伊藤会長
	13日	学院文化祭（熊歯衛祭）	石井理事、髙田委員長他２委員
	15日	第２回日学歯選挙管理委員会（日歯会館）	髙田委員長
	16日	「歯・口の健康づくり」研究推進校　研究発表会（大津南小学校）	石井理事
		学校歯科委員会 （１）学校歯科医のアンケート（２）学院連携事業（３）児童虐待パンフレット　ほか	宮井副会長、石井理事、髙田委員長他全委員
	17日	県ＰＴＡ共催審査委員会（県総合福祉センター）	牛島専務理事
医療対策	10月29日	【Web】九州各県歯科医療安全対策担当者会 （１）令和４年度事業計画及び予算（２）各県提出協議題 （３）日本歯科医師会への要望及び質問　ほか	椿理事、町田委員長
	11月６日	医療対策講演会 受講者：69人　講師：医療法人社団グリーンデンタルクリニック理事　島田淳理事長 演題：「困った患者さん」の見方とその対応　―患者さんと医療者が幸せとなるために―	伊藤会長、牛島専務理事、永松常務理事、椿理事、町田委員長他全委員
	８日	医療対策委員会 （１）事例報告（２）理事報告	永松常務理事、椿理事、町田委員長他全委員
	14日	医療相談	永松常務理事、椿理事、町田委員長
センター・スペシャルニーズ	10月21日	人吉医療センター 石神先生視察（口腔保健センター）	椿副会長、岡﨑局長他２人
	11月５日	第39回日本障害者歯科学会（倉敷市民会館）	椿センター長
	７日	センター定例ミーティング（口腔保健センター）	椿センター長、五島理事、岡﨑局長他２人
厚生・医療管理	10月22日	下益城郡健康診断（松橋東防災拠点センター）	
	28日	球磨郡健康診断（あさぎり町免田保健センター）	
		厚生・医療管理小委員会 （１）歯科医院事業承継（２）歯科衛生士バンク（３）オンライン資格確認説明会　ほか	工藤理事、牧委員長他１委員

所管	日付	摘要	出務者
厚生・医療管理	11月５日	オンライン資格確認説明会 受講者：来館15人、Web25人	工藤理事他２委員
	13日	第23回九州歯科医療管理学会総会・学術大会（佐賀県歯会館）	宇治常務理事、工藤理事
	17日	【Web】厚生・医療管理委員会 （１）医療管理講演会（２）就業規則講演会（３）歯科衛生士バンク　ほか	【会館】工藤理事、牧委員長他全委員【Web】宮井副会長
医療連携	10月26日	【Web】第１回県がん診療連携協議会（診療所）	三森理事
	27日	歯周病リスク検診について打合せ（日赤健康管理センター）	三森理事
	30日	【Web】回復期医科歯科病診連携推進事業研修会 受講者：49人　講師：誠愛リハビリテーション病院 長尾 哲彦院長	松本副会長、三森理事他４委員
	11月17日	回復期病院へ連携の働きかけ（人吉リハビリテーション病院、公立多良木病院）	三森理事
学　院	10月22日	学院推薦入学・社会人一次試験合格者発表　合格者：44人	
	24日	学院自衛隊隊内生活体験（Ａ班）（至26日）（自衛隊北熊本駐屯地）	弘中副学院長、前野会員
		第18回理事会	東学院長
	27日	熊本国府高校創立八十周年記念式典（県立劇場）	宮崎係長
	30日	学院学年対抗運動会（坪井川緑地運動公園）	秋山・弘中副学院長、正清教務部長他３人
	31日	学院自衛隊隊内生活体験（Ｂ班）（至11月２日）（自衛隊北熊本駐屯地）	秋山・弘中副学院長、前野会員
		学院専任教員採用面接	東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長
	11月１日	学院臨床実習指導担当歯科衛生士研修会　講師：本田貴子歯科衛生士	東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長他全教務委員
	13日	学院文化祭（熊歯衛祭）	弘中副学院長

お知らせ

令和４年度臨時代議員会 開催のお知らせ

下記の通り令和４年度臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：令和５年３月25日（土）午後４時30分～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［議　事］
第１号議案　令和４年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　令和５年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　令和５年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　令和５年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件

［協　議］
１　時局対策について
２　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、事務局に必ずご連絡のうえ、ご来場下さい。
※新型コロナウイルスの拡大状況によっては、一部制限をすることがありますので、ご了承ください。

其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

最高「3000万円」の
保障が無診査で加入OK

1年更新で配当金は
毎年加入者へ還元

（2021年の還元率48%）

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

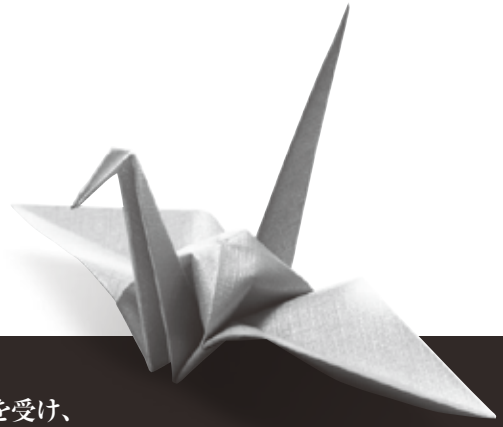
- 下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。
- 個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アメリカンファミリー生命　住友生命　SOMPOひまわり生命
第一生命　日本生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

その高品質
折り紙付き。



アサヒプリテックは、LBMA、LPPMのグッドデリバリーバーとして認定を受け、
その品質は世界のマーケットで高く評価されています。
また、お預かりした金属の分析から売却までをWeb上で安全に運用できる
「アサヒメタルアカウントシステム」の提供など、貴金属リサイクルをトータルでサポート。
歯科業界における資源循環サイクルを実現しています。

アサヒメタルアカウントシステム

LBMA、LPPMグッドデリバリーバー認定

SDGs取組実施

ASAHI PRETEC

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部／〒100-0005　東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー 11F

TEL：03-6270-1820　FAX：03-6270-1825　URL：https://www.asahipretec.com/

営業所 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
January 2023 No.799

主な行事予定 2 February

1日(水)　第31回常務理事会

4日(土)　学院一般一次・社会人二次入学試験　(学院校舎)

15日(水)　第32回常務理事会

22日(水)　第22回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

県立大学生が若者への
オーラルケアの情報を発信しています！

Instagram

いい笑顔は BEAUTY× TEETH オーラルケアから

熊本県歯科医師会公認の
オーラルケアサポートアカウント🦷

編集者のつぶやき

ワールドカップはベスト８入りならず惜しくも敗退しましたがとても盛り上がりましたね。新型コロナに関しては屋外でのマスクは必須でなくなったり、旅行やコンサートも条件が緩和されたりと、徐々に日常を取り戻しつつあります。2022年は戦争などの暗いニュースが多かった年でしたが、2023年は争いごとのない明るいニュースの多い年になるよう、私たち一人一人が感謝と思いやりの心を持って過ごせるよう心掛けたいですね。

(G.H)

■発行日／2023年1月5日発行　■発行人／伊藤　明彦
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／https://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷